



お知らせ:IFCO2013大阪世界大会に参加しませんか！

IFCO (International Foster Care 国際フォスターケア機構) とは、子ども中心の社会的養護と家庭養護の促進と援助を目的とした世界で唯一の国際的ネットワーク機構です。1981年に結成されて、現在の会員は世界60カ国以上に広がっています。

IFCOの世界大会は隔年で開催され、2011年はカナダで開催されました。今年の大阪世界大会は同封したチラシにあるように9月13日から16日までの4日間、大阪国際交流センターで開催されます。テーマは「家庭養護の推進に向けて協働しよう！」—子ども中心の家庭養護を促進するために必要な里親、養育者、専門機関などの連携と協働について情報交換し学びあう機会となります。

また、ユース(15歳から29歳)で社会的養護の生活を経験した若者を中心に、里親の実子等も加わって言葉の壁を越えて交流します。

全4日間の参加費は大人が40,000円、ユースが15,000円(ディナー費を含む)、1日参加は10,000円とやや高いかもしれませんが、北海道里親連合会では参加者への補助を予定しています。補助額は未定ですが、少なくとも参加費に当たる分は充当されると思われます。

滅多にない国際大会であり、各国の里親や社会的養護経験者、ユースたちと言葉の壁を越えて人権と福祉の大切さについてお互いに学び励まし合う貴重な機会として、中央地区の里親さんにぜひ参加されることを呼びかけます。

参加したい、もしくは考えてみようかという里親・里子(実子を含む)さんは、下記の事務局へご一報くださるようお願いします。

お知らせ:保険医療機関でない整骨院などは、養育児童の「受診券」が使えません

現在、里親に委託されている子どもが医療を受ける場合、「受診券」を提示することにより、直接医療機関に費用を支払う必要がありません。しかし、保険医療機関でない柔道整復施術などをする整骨院などでは、費用の全額を窓口で支払わなければなりませんのでご注意ください。なお、支払った費用は施術を受けた理由を添えて北海道へ請求することになります。

お知らせ:里親と子どもを守る損害賠償責任保険は里親会の契約です

委託を受けている子どもの養育途中に事故が発生した場合、里親の義務負担を軽減するために「里親賠償責任保険」があります。保険の掛金は北海道が全額を補助していますが、保険の加入者は北海道里親会連合会長を代表とした里親会です。この仕組みについて理解し、維持するためにご協力をお願いします。

今日、お届けする資料は

- 北海道里親会連合会「さとおや 第54号」
- 「IFCO2013大阪世界大会」のご案内
- 「事故にあったとき 事故をおこしたとき」